

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化箇所）

担当課： _____
 担当課長名： _____

事業の概要

事業名	松山線	事業区分	街路	事業主体	那覇市
起終点	那覇市若狭2丁目～那覇市松山1丁目			延長	0.305km
事業概要	計画幅員30m、車線数：4車線、歩道幅員4m×両側、H18事業内容：物件調査、用地・補償費 事業内容：物件調査、用地・補償費、道路工事 うちH18事業内容：物件調査、用地・補償費				
事業の目的、必要性	本路線は、都市計画道路・那覇西道路の終点と国道58号を結び、那覇市の中心部と沖縄西海岸道路（那覇西道路）を連絡する主要幹線道路である。現在、国が事業中の那覇西道路整備スケジュールに合わせ、早期に当該路線整備に着手し、現道の2車線を4車線に拡幅する必要がある、那覇西道路と併せて、那覇市街部の交通渋滞緩和と那覇空港へのアクセスの向上を図る。				
全体事業費	24	億円	計画交通量	22,100	台/日
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

事業採択の前提条件

費用対便益： 便益が費用を上回っている。
 手続きの完了： 都市計画決定済み

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.3	総費用 41.14 億円 事業費： 40.82 億円 維持管理費： 0.32 億円	総便益 95.46 億円 走行時間短縮便益： 82.97 億円 走行費用減少便益： 7.95 億円 交通事故減少便益： 4.54 億円	基準年 平成 17 年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=	(交通量 %)	B/C= (交通量 %)	
		事業費変動	B/C=	(交通量 %)	B/C= (交通量 %)	
		事業期間変動	B/C=	(交通量 %)	B/C= (交通量 %)	
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	【渋滞損失時間の改善】 【1kmあたり(台kmあたり)渋滞損失時間】 【渋滞度曲線】 【その他の特徴】 ※データは県内平均・全国平均と比較すること		
		事故対策	○	死傷事故率が高い区間の事故の減少が見込まれる。 【死傷事故率】約341件/億台キロ(現況) 沖縄県：72.9件/億台キロ(H15) (約4.68倍) 全 国：119.99件/億台キロ(H15) (約2.84倍) 【その他の特徴】 中央分離帯の設置により、車両相互通行を分離し、安全を確保する。 ※データは県内平均・全国平均と比較すること		
		歩行空間	○	バリアフリー化の促進		
	社会全体への影響	住民生活	○	空港の利便性向上		
		地域経済	○	関連する大規模道路事業との一体的整備		
		災害	-			
環境		-				
地域社会	-					
事業実施環境	-					

採択の理由

費用便益比が2.3と、便益が費用を上回っており、都市計画手続きが完了していることから、事業採択の前提条件が確認できる。また、現在事業中の那覇西道路と共に、那覇市街部の交通渋滞緩和と那覇空港へのアクセスの向上を図る効果があると認められることから本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。